

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年12月05日

計画の名称	有田市における暮らしを守る雨水対策の推進（防災・安全）（重点計画）														
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	有田市														
計画の目標	管渠の整備やポンプ施設の改築を行い浸水被害の軽減を図り、市民の暮らしを守る防災環境の形成を推進する。														
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		1,082	A	1,082	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H31当初）	（R3末）	（R5末）
1	雨水施設を整備し、計画期間内における都市浸水対策達成率を42％（H31）から58％（R5）に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率	42％	50％	58％
	浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）			
2	ポンプ場の耐震・耐津波対策を含む改築を行い、計画期間内における耐震・耐津波化対策達成率を0％（H31）から50％（R5）に増加させる。			
	ポンプ場の耐震・耐津波化対策達成率	0％	0％	50％
	耐震・耐津波化対策達成済みポンプ場（箇所）／耐震・耐津波化対策を実施すべきポンプ場（箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	有田市	直接	有田市	管渠（ 雨水）	新設	雨水管渠	函渠□1500×1100、管渠φ60 0~900、L=1412m	有田市	■	■	■	■	■	198		-	
	A07-002	下水道	一般	有田市	直接	有田市	ポンプ 場	改築	雨水ポンプ増設	箕島ポンプ場	有田市		■	■	■		378		-	
	A07-003	下水道	一般	有田市	直接	有田市	ポンプ 場	改築	ポンプ場の改築更新にか かる調査、点検、設計及 び実施、ストックマネジ メント計画の策定	箕島ポンプ場、港ポンプ場	有田市	■	■	■	■	■	506		策定済	
		ストックマネジメント計画による																		
												小計						1,082		
												合計						1,082		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市で実施	事業完了後
	公表の方法
	市ホームページに掲載
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	雨水施設を整備し、計画期間内における都市浸水対策達成率を42%（H31）から62%（R5）に増加させた。 ポンプ場の耐震・耐津波対策を含む改築を行い、計画期間内における耐震・耐津波化対策達成率を0%（H31）から50%（R5）に増加させた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
引き続き浸水達成率と、ポンプ場の耐震・耐津波達成率の増加に取り組む。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	58%	
	最 終 実績値	62%	
2	最 終 目標値	50%	
	最 終 実績値	50%	